

2021年12月現在

東京都内の地域活動団体の 現状及び見通しについて

「地域団体の活動・ニーズ 最新状況アンケート」調査結果

2021年12月20日



いくつになっても、いきいきと暮らせるまちをつくる

東京ホームタウン
プロジェクト TOKYO=HOMETOWN PROJECT

調査概要

【調査の目的】

東京ホームタウンプロジェクトで過去支援をした団体について、現在の活動状況、課題及びニーズを把握する為の調査です。調査結果については、今後の支援プログラムに向けた貴重な参考とさせていただきます。

【調査の概要】

- 調査期間 : 2021年11月16日～2021年12月6日
- 対象者 : 過去東京ホームタウンプロジェクトでの支援先団体
- 回答団体数 : 37団体

【補足】

2020年度に実施した東京都内の地域活動団体の活動状況に関するアンケート調査（調査期間：2020年4月27日～2020年5月8日／回答数：45団体）と比較可能な設問については、本調査結果とあわせて、2020年度の調査結果も併記しています。

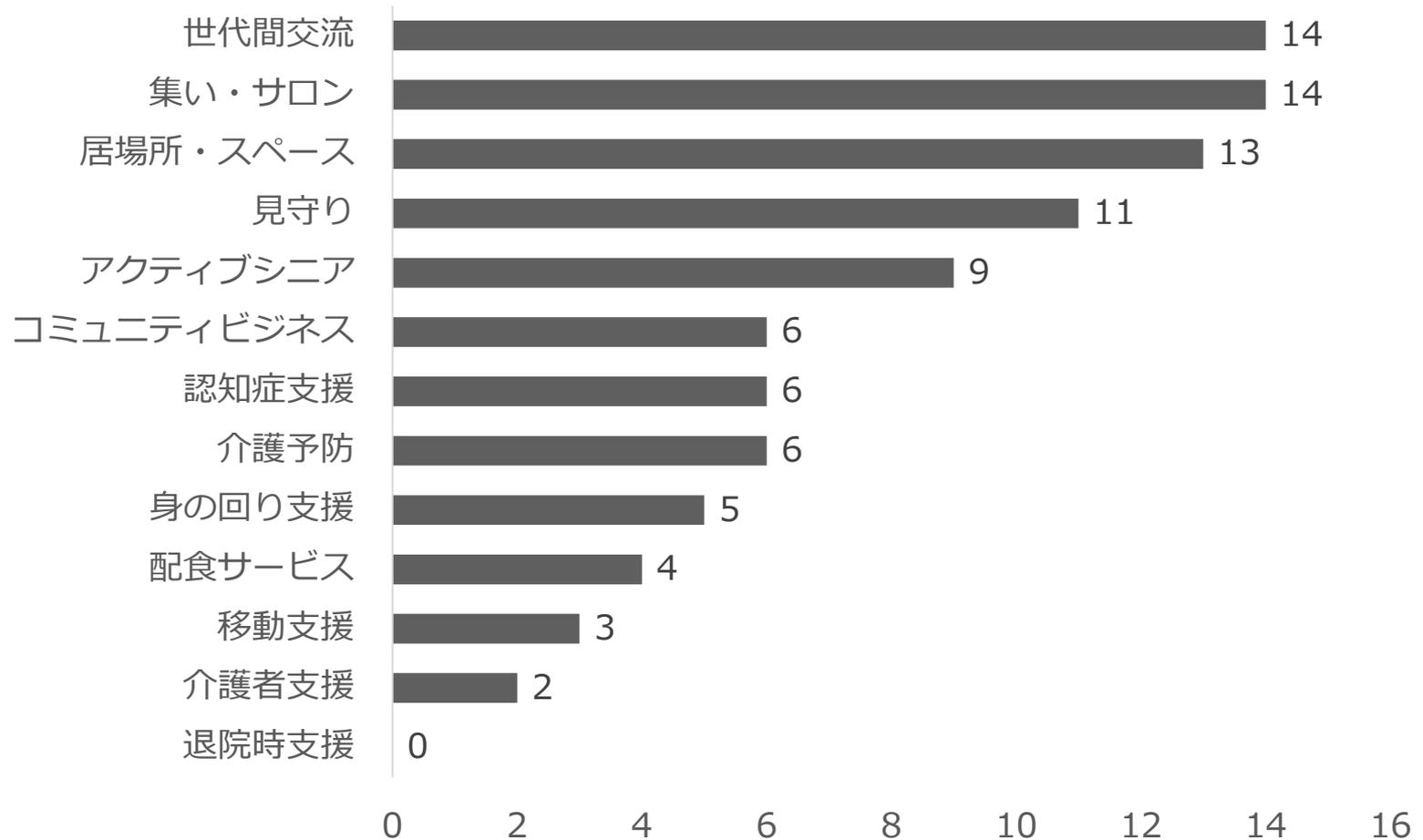
調査結果サマリ（1 / 2）

新型コロナウイルスの影響	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルスの影響により活動が停止した期間がある団体は59%と、多くの活動が一時的にでも活動の休止・停止に至っていたことが分かりました。
現在の活動状況 ※新型コロナウイルス拡大以前との比較	<ul style="list-style-type: none">・現在「活動を行っている」団体は84%でした。そのうち、「活動の頻度」が減った団体は52%、「参加者・利用者の数」が減った団体は52%と、多くの団体が活動を縮小していることが分かりました。・活動を続けられている理由は、「感染防止に配慮した体制がとれているため」という回答が最も多く、その他、オンラインの活用や活動体制の見直しなどにより、工夫をこらしながら活動を継続している様子が見られました。
今後の活動の見通し	<ul style="list-style-type: none">・今後については、「活動の頻度」を増やしたい団体は61%、「参加者・利用者の数」を増やしたい団体は76%と、前向きな回答が見られました。活動の頻度や参加者・利用者の数を減らしたいと回答した団体は0%でした。
深刻になった地域の課題	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルスの影響により、近隣の地域で深刻になったと感じる課題は「人と会う機会が減った」が最も多く、続いて「孤独を感じる人が増えた」「運動する機会が減った」との回答が多くみられました。

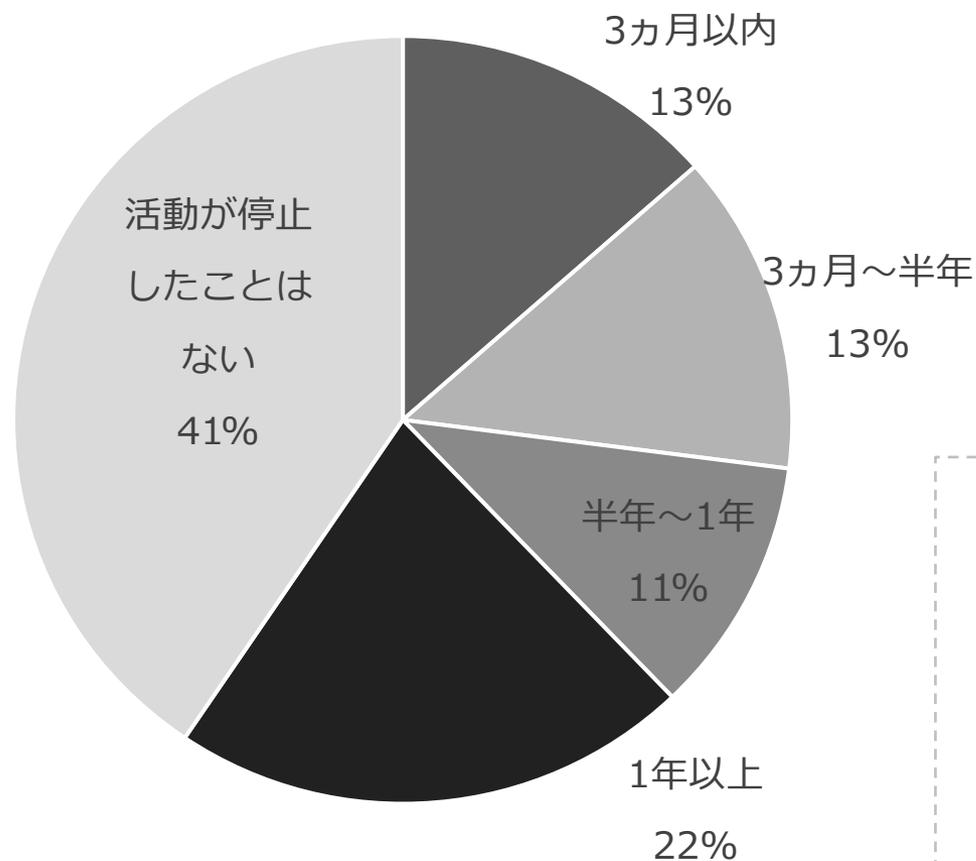
調査結果サマリ（2 / 2）

新たな取り組み	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルスの影響により、新たな取り組みを始めた団体は70%でした。オンライン会議システムの導入や、講座等のオンライン配信、アプリの活用などさまざまな取り組みが行われていることが分かりました。・今後、新たに始めたいと思う取り組みがある団体は62%あり、居場所や交流機会づくり、健康づくり、高齢者支援などにおいて、さまざまな団体が新たな取り組みを検討していることが分かりました。
オンラインツールの活用	<ul style="list-style-type: none">・団体の関係者との会議において、ビデオ会議ツールを利用したことがある団体は87%でした。昨年度の調査では53%だったため、多くの団体に利用が広がっていることが分かりました。・オンラインを活用した活動を行っている団体は70%で、Zoomの活用が最も多く、続いてLINE、YouTubeの利用が多くみられました。
今後のプロボノへの支援希望	<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍での活動変化を踏まえて、今後プロボノに依頼したい支援については、ウェブやチラシ作成等の情報発信系、クラウドファンディングやオンライン活用などの組織運営系などがありました。

設問 1. 主な活動分野をお教えてください（複数回答可）



設問 2. 新型コロナウイルスの影響により活動が停止した期間を教えてください

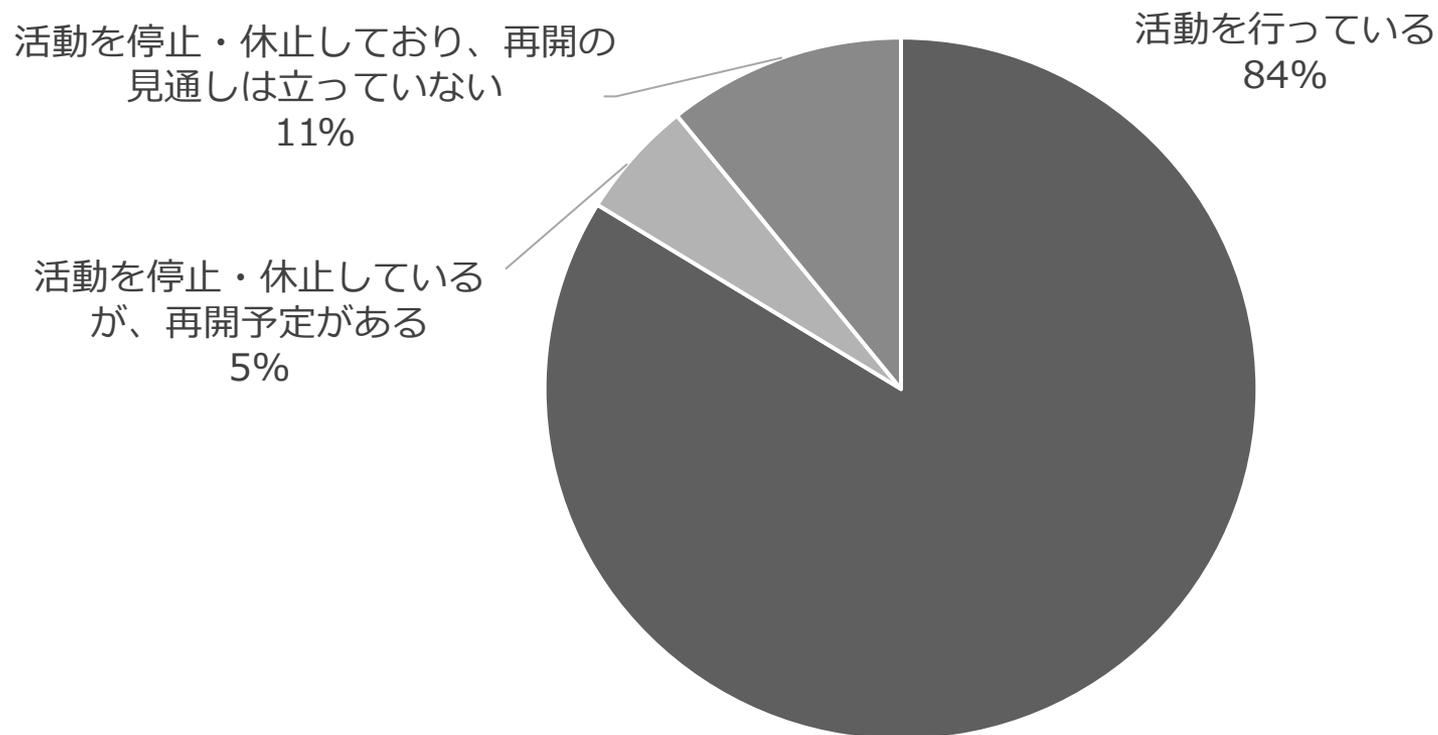


参考) 2020年度調査結果

新型コロナウイルスの影響により、活動頻度は変化しましたか？

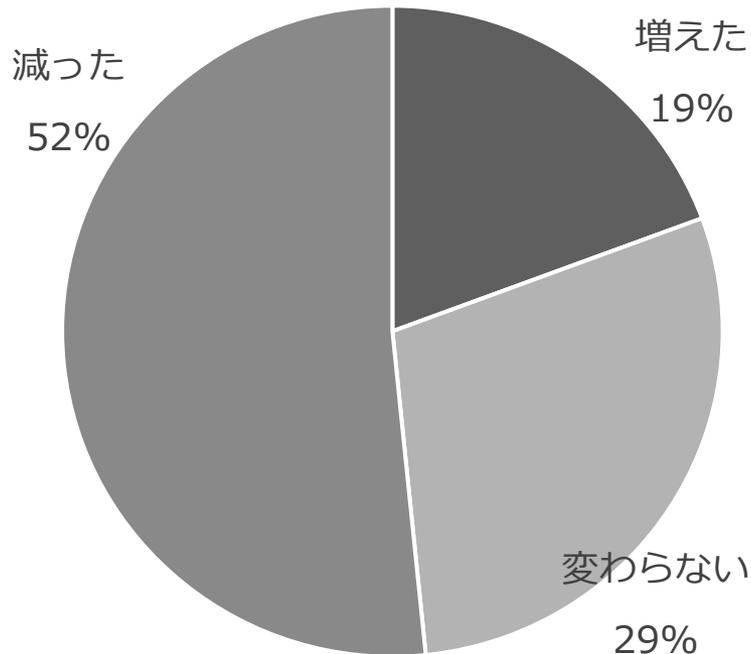


設問3. 現在、活動を行っていますか？

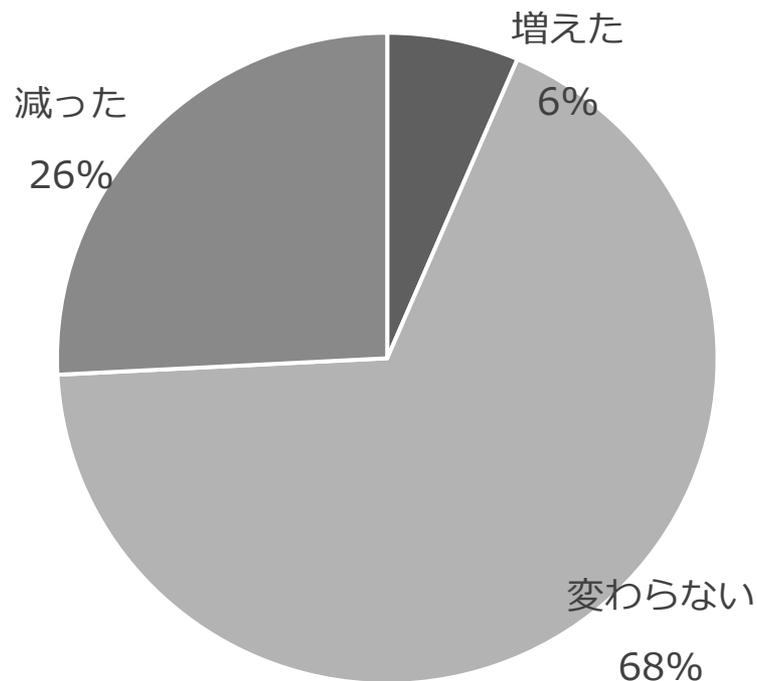


設問4. 現在の活動の状況は、新型コロナウイルス感染拡大以前と比較してどのように変化しましたか？ ※「活動を行っている」団体への質問

【活動の頻度】

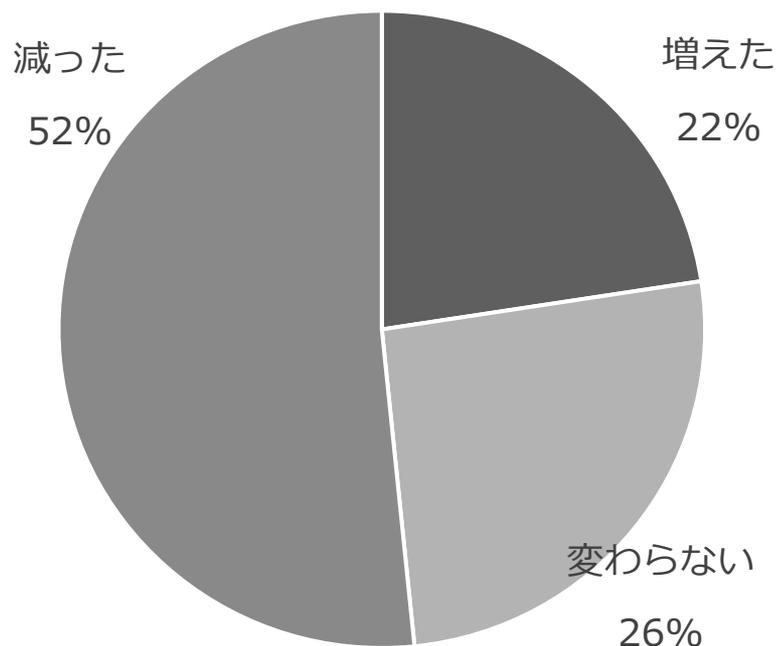


【活動の拠点】

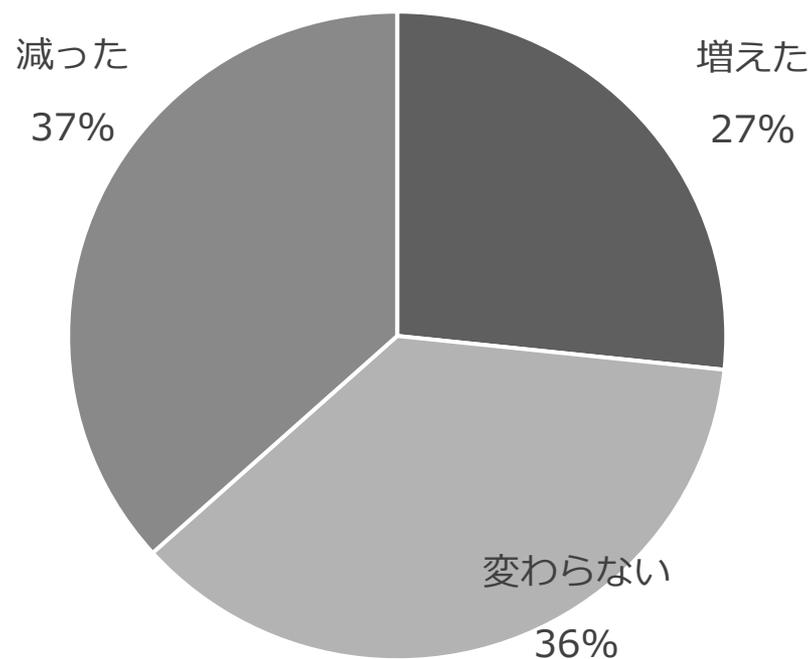


設問4. 現在の活動の状況は、新型コロナウイルス感染拡大以前と比較してどのように変化しましたか？ ※「活動を行っている」団体への質問

【参加者・利用者の数】

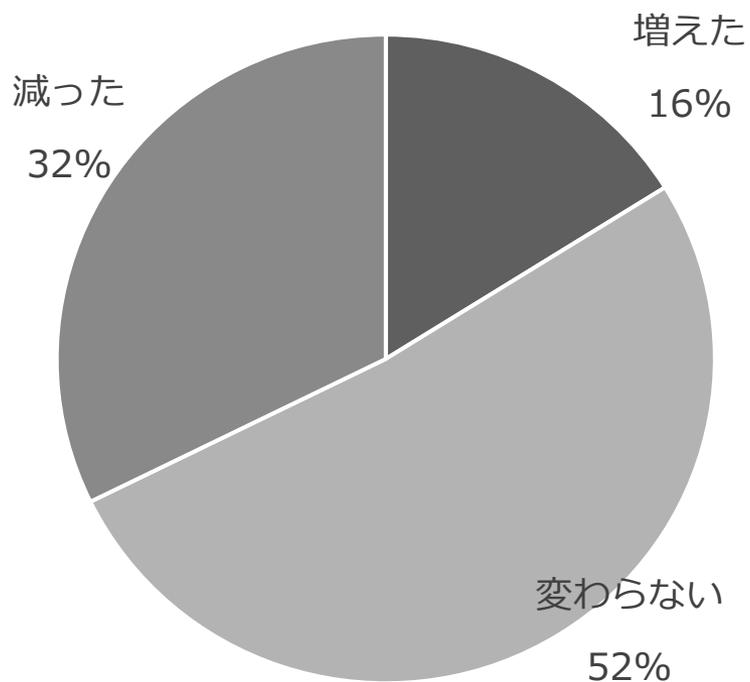


【担い手・ボランティアの数】



設問4. 現在の活動の状況は、新型コロナウイルス感染拡大以前と比較してどのように変化しましたか？ ※「活動を行っている」団体への質問

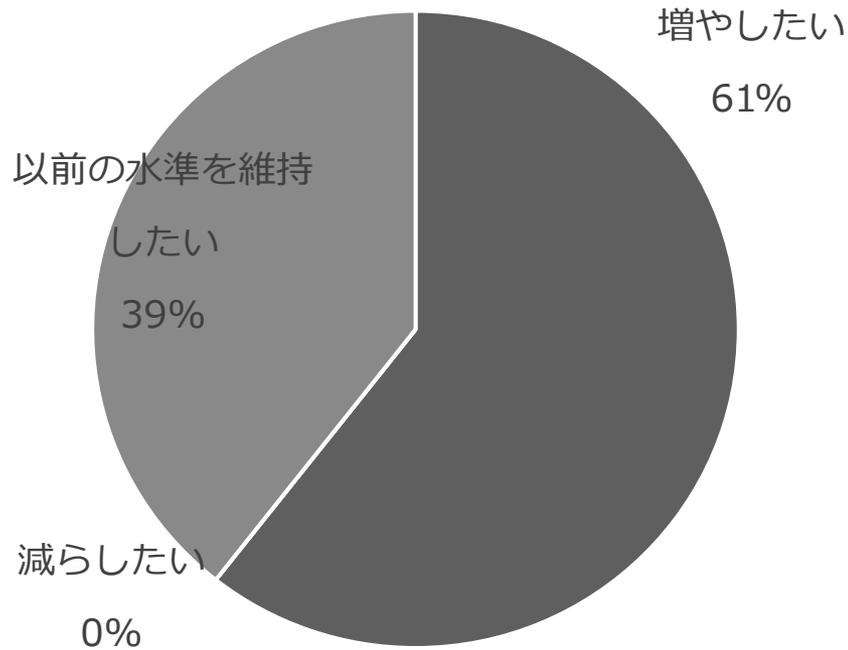
[活動資金]



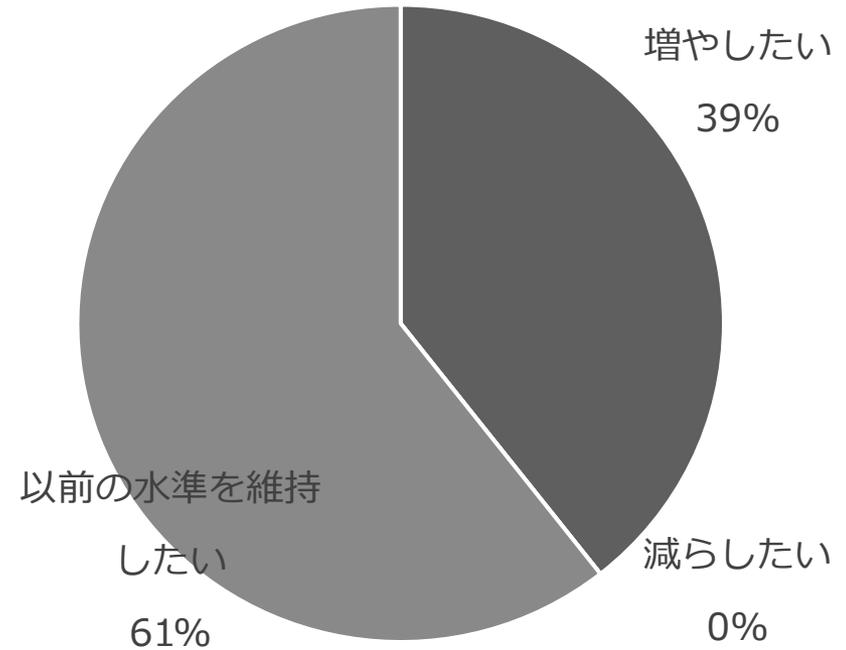
設問5. 今後、新型コロナウイルス感染拡大以前と比較して団体の活動をどのようにしていきたいと思いますか？

※「活動を行っている」「活動を停止・休止しているが、再開予定がある」団体への質問

【活動の頻度】



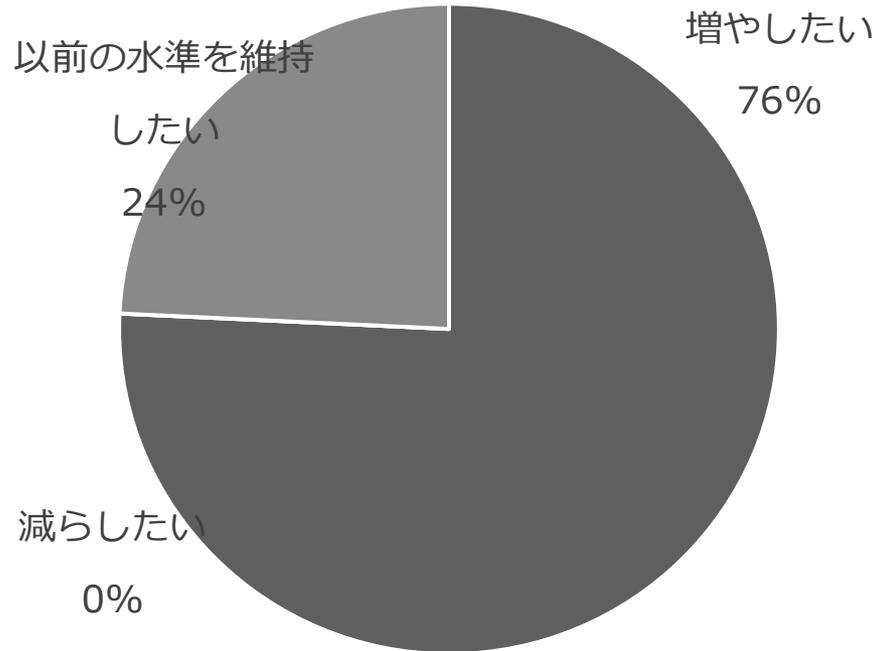
【活動の拠点】



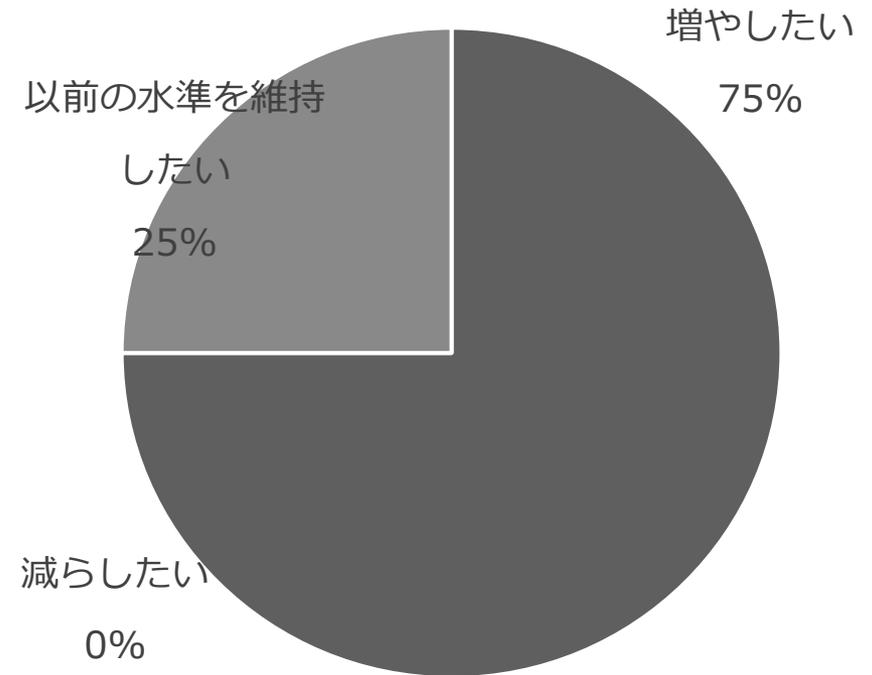
設問5. 今後、新型コロナウイルス感染拡大以前と比較して団体の活動をどのようにしていきたいと思いますか？

※「活動を行っている」「活動を停止・休止しているが、再開予定がある」団体への質問

【参加者・利用者の数】



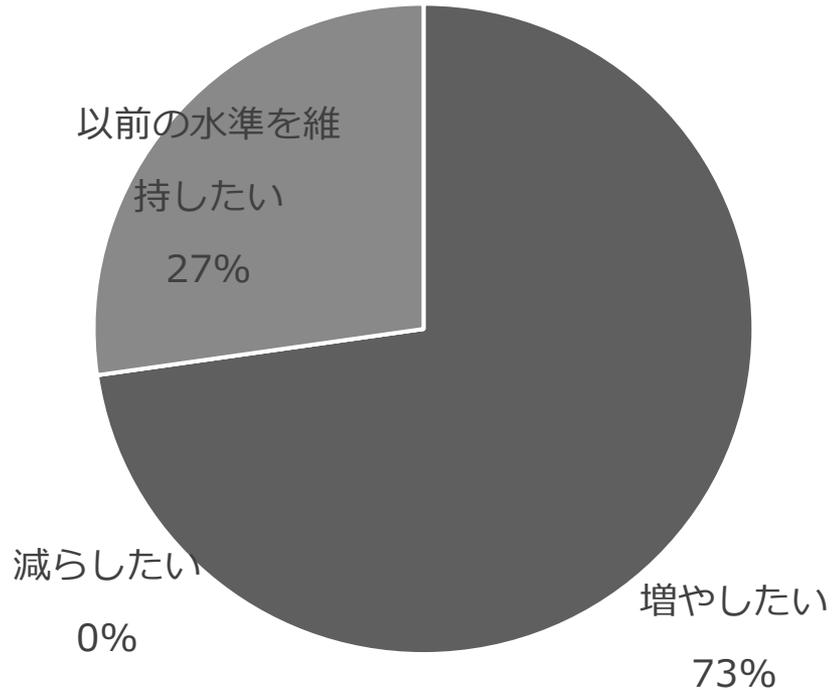
【担い手・ボランティアの数】



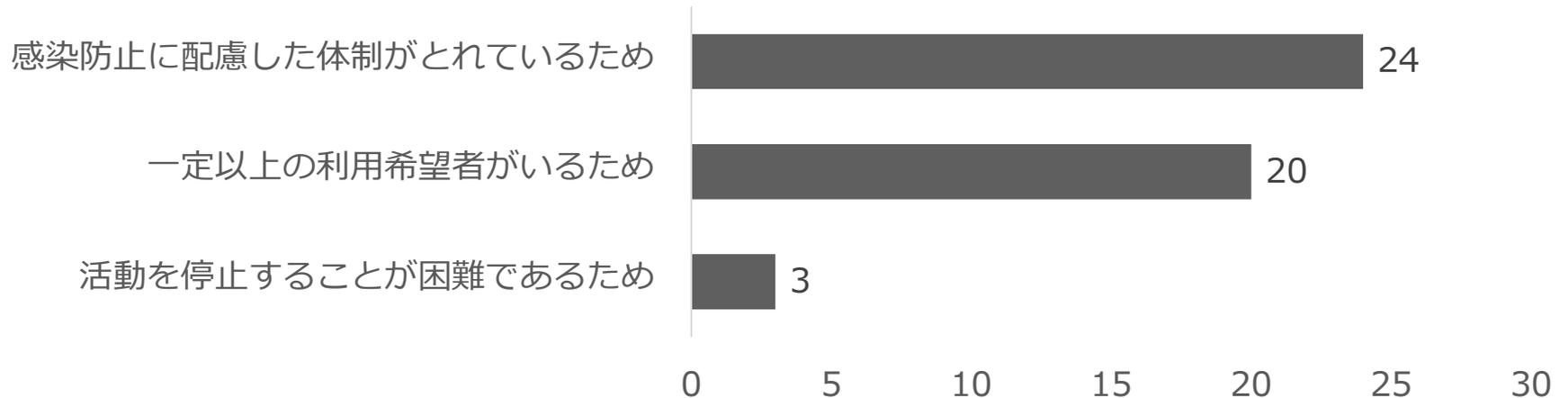
設問5. 今後、新型コロナウイルス感染拡大以前と比較して団体の活動をどのようにしていきたいと思いますか？

※「活動を行っている」「活動を停止・休止しているが、再開予定がある」団体への質問

[活動資金]



設問6-1. 活動を続けられている理由として当てはまるものを選択してください。（複数回答可） ※「活動を行っている」団体への質問



その他の回答内容（自由記述）

- ・ スタッフから再開を望む声があがった
- ・ 人とつながれる場所、ホッとできる場所、何かに挑戦できる場所が必要だと感じているため
- ・ 場があることそのものが、未来の安心と希望につながっている。
- ・ 活動を停止しないという強い決意があるため
- ・ オンラインを取り入れつながりを続けている。
- ・ 活動をしたい人ができる人とだけ活動しているため
- ・ 我々が活動が必要と実感しているから。

設問6-2. 活動を継続するためにどのような工夫をしていますか？

※「活動を行っている」団体への質問

■ 感染対策（人数制限、消毒など）

- ・ 感染対策を行い、活動する人数を制限している
- ・ 感染対策を完備する施設を利用している。
- ・ 感染予防の徹底、健康観察の依頼等
- ・ ボランティアの人数を減らし、室外でできる事をやっている
- ・ 感染対策、子ども食堂をフードパントリーに変更
- ・ 車内消毒やワクチン接種など感染防止対策
- ・ 徹底した事務所の消毒、マスク着用
- ・ コロナ対策を徹底している
- ・ 人数制限をして緊急事態宣言以外は運営できるようにしている
- ・ 万全なコロナ対策。講習会前に必ずスタッフの抗原検査をおこなうなど。
- ・ 催事は、すべて中止し、食支援のみに特化
- ・ 人数制限、消毒、広い会議室確保

■ オンラインの活用

- ・ オンラインを利用して対面での活動を減らしている
- ・ オンラインツールを用いたセミナー
- ・ インターネット（Zoom）の活用
- ・ オンライン化したり、少人数で個別に会ったり。

設問6-2. 活動を継続するためにどのような工夫をしていますか？

※「活動を行っている」団体への質問

■活動体制の見直し

- ・必要に応じた活動体制づくり
- ・他団体や専門機関と連携しながら活動に取り組む。
- ・ポジティブ、楽しい人、考えが会う人と活動する
- ・当法人スタッフ内で営業など強化している

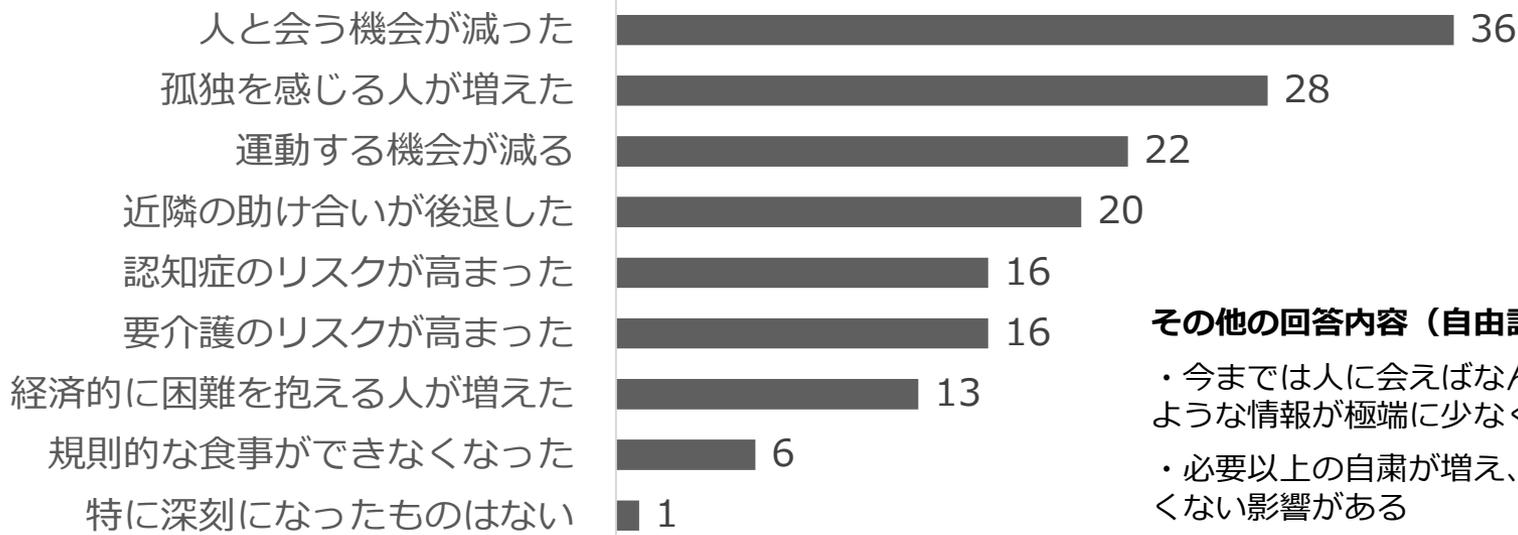
■無理のない継続方法を検討

- ・無理をしない範囲で継続している。
- ・縮小しても途絶えないよう頑張っています。
- ・無理なく楽しく仲よくを心がけています。
- ・安心できる形で、無理なく楽しく活動している。悩んだ時は相談して決めていく。
- ・完璧な対策を取れないことも含めて参加するみなさんの合意を取ることで、継続するハードルを下げている。

■その他

- ・活動していることの告知を常に行う
- ・ボランティアであるが活動資金は必要、助成金等活用できるものはお願いしている。
- ・2020、2021新しい時代を感じとり、新しい活動、活動スキルを始めた。仲間のスキルアップも図る。
- ・高尾山登山

設問7. 新型コロナウイルスの影響により、みなさまの近隣の地域ではどのような課題が深刻になったと感じますか？（複数回答可）

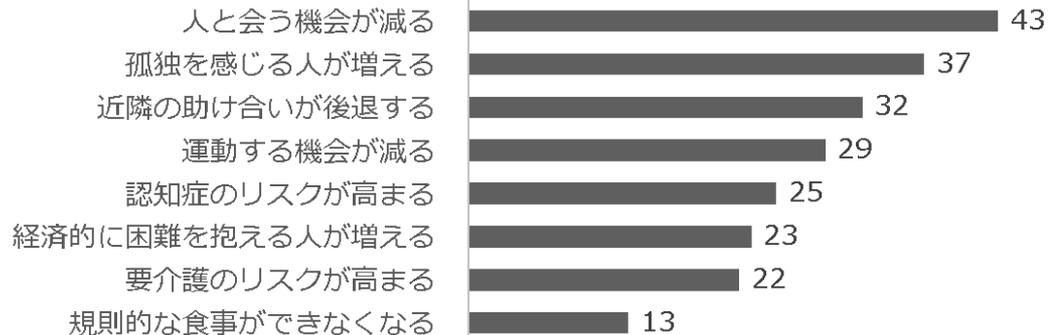


その他の回答内容（自由記述）

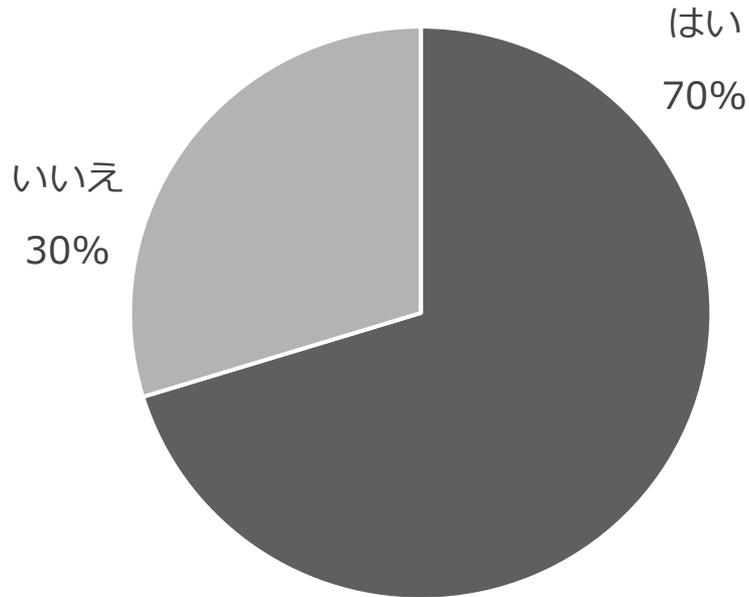
- ・今までは人に会えばなんとなく判った、そのような情報が極端に少なくなった思いがある。
- ・必要以上の自粛が増え、地域にとって好ましくない影響がある
- ・外食の機会がなくなり、交流が減った。
- ・遊びに行ける場所が減った

参考) 2020年度調査結果

新型コロナウイルスの影響により、みなさまの近隣の地域ではどのような課題が深刻になると感じますか？（複数回答可）※N=45

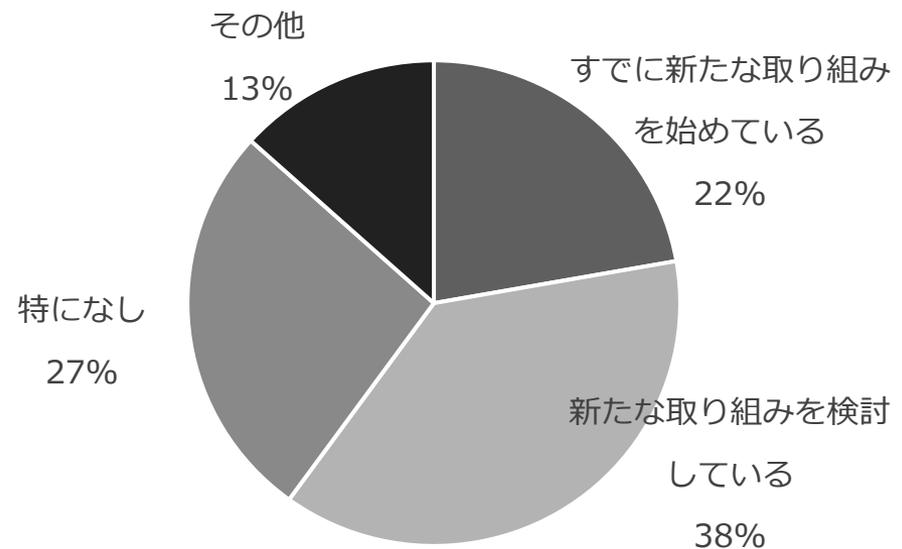


設問 8 - 1. 新型コロナウイルスの影響により、新たな取り組みを始めましたか？



参考) 2020年度調査結果

新型コロナウイルスの影響により、新たな取り組みを始めている、または始めることを検討していますか？



設問8 - 2. 具体的に、新型コロナウイルスの影響により、どのような取り組みを始めましたか？

■ オンライン会議システムの導入

- ・ Zoomを利用したWebサロン
- ・ オンラインで情報交換やオンラインで複数会場をつないだ取り組みなどを行った。
- ・ デジタル化の必要性が急速に高まり、地域へのオンライン会議やスマホ浸透活動など

■ 講座等のオンライン配信

- ・ ICT技術の導入(ライン、Zoom、YouTube、講座のオンライン配信)
- ・ オンラインでのセミナー開催。講習会をオンラインでも開催しやすくするため、動画の制作に取り組んでいます。
- ・ Web講演会「おもしろ講座」の新設。今後、継続的に発展させる予定です。
- ・ 親子ひろばのYouTube製作
- ・ 感染対策をしながらも、どうやったら人と人とのつながりを作り出せるか、このことばかりを考えていました。集まることが難しいなら、一方的でもいいから届けてみようと紙面の形やネット配信などを様々試みました。私たちの試行錯誤している姿をもあえて発信することで、誰もが先の見えない中で苦労しているという共感には地域に持ってもらえたかと思えます。

■ アプリの活用

- ・ スタンプラリーイベントを従来のやり方とは別に、スマホアプリを使って非接触で行った。

■ 感染対策の強化

- ・ 体温チェック、消毒の徹底、お茶・おやつ提供の停止、マスク着用・検温の依頼
- ・ 感染対策のために道具を共有する場合は手袋を利用、消毒などの取り組み、指導者はフェイスシールドを利用すること。

設問8 - 2. 具体的に、新型コロナウイルスの影響により、どのような取り組みを始めましたか？

■フードパントリー等

- ・こども食堂を中止して、食材配付（フードパントリー）を行った。
- ・フードパントリー、大事なもののパントリー（使わない大事なものを寄付いただき、欲しい人につなげる。フードパントリーの物バージョン）
- ・多世代食堂、フードパントリー

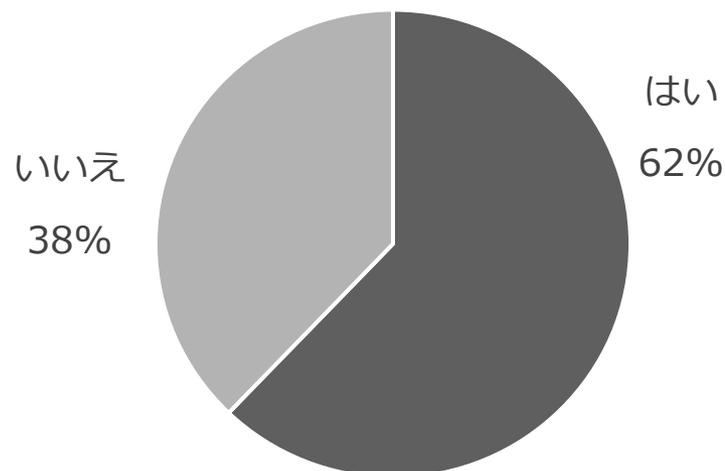
■新たな活動メニューの追加

- ・高尾山登山
- ・少人数でのスマホ教室の開催
- ・区民が主体的に学び合いをする講座の開催等。
- ・認知症予防講座囲碁入門
- ・高齢者施設への訪問ができなくなった（現在も不可）ため、傾聴の対象者を自分自身に置き換え、自身の思い出ノートづくり、過去編・現在編・未来編にチャレンジする講座を開設、その後、「私の思い出ノート」づくりの会 というグループ活動を開設しました。
- ・そのものが追い風となり、高齢者の孤立問題への有効性についての講演など

■その他

- ・活動自体で新しい取り組みはしていないが、介助派遣(移動支援)を休止している事業所が多く、その利用者の受け皿を積極的に行うようにしている。
- ・いままでの活動を見直し、改善すべき課題を話しあい、コロナ後を見据えて準備している。
- ・販売などが中心でしたが、展示会などにも出展し、多くの方に認知してもらおうようにしている
- ・ボランティアの受け入れを中止し、団体スタッフの活動を増やした。

設問9. 今後、新たに始めたいと思う取り組みはありますか？



具体的な取り組みの内容

■居場所づくり

- ・子どもの居場所事業、カフェなど地域の方々が集える場所づくり
- ・多世代の居場所づくりと、ボランティアの世代交代
- ・不登校支援、もう一事業所の開所
- ・子どもの居場所（不登校児など）、困窮者向け住居施設

■交流機会づくり

- ・農園を使った多世代異業種交流イベント
- ・「いくつになっても、いきいきと暮らせるまち」に住んでいる高齢者をイメージした活動。
- ・暮らしの保健室のようなサロンの開設。みんなで作って食べるイベント。地域や幼稚園のフリーマーケットやバザーなどが軒並み中止になったので、居場所でのおさがりガレッジセールのようなことに取り組みたい。

設問9. 今後、新たに始めたいと思う取り組みはありますか？

■健康づくり

- ・少しずつ日常が戻ってきている中で、健康をテーマに事業を考えたいと思っています。
- ・何か動き始めたいと思ったときに、まず自分の身体に意識を向けてみたらどうか、単に健康づくりやフレイル予防というだけでなく、かけがえのない自分を大切にするという視点が今必要なんじゃないかと考えています。

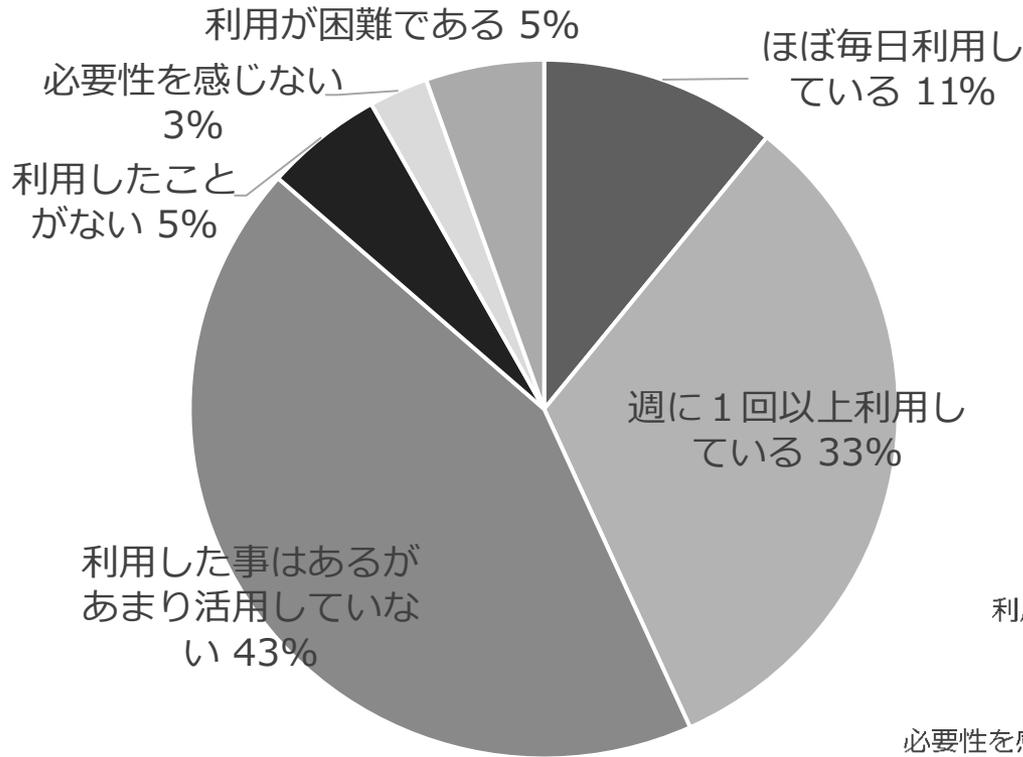
■高齢者の支援

- ・シニアのための「講演デビュー講座」の開設
- ・在宅医療の講座開催
- ・スポーツを用いた新たな障害者・高齢者支援の在り方。スポーツを用い支援する側される側という一方向をなくす体験型教育システム。
- ・間に人を介さずに直接親族とつなげるサービス

■その他

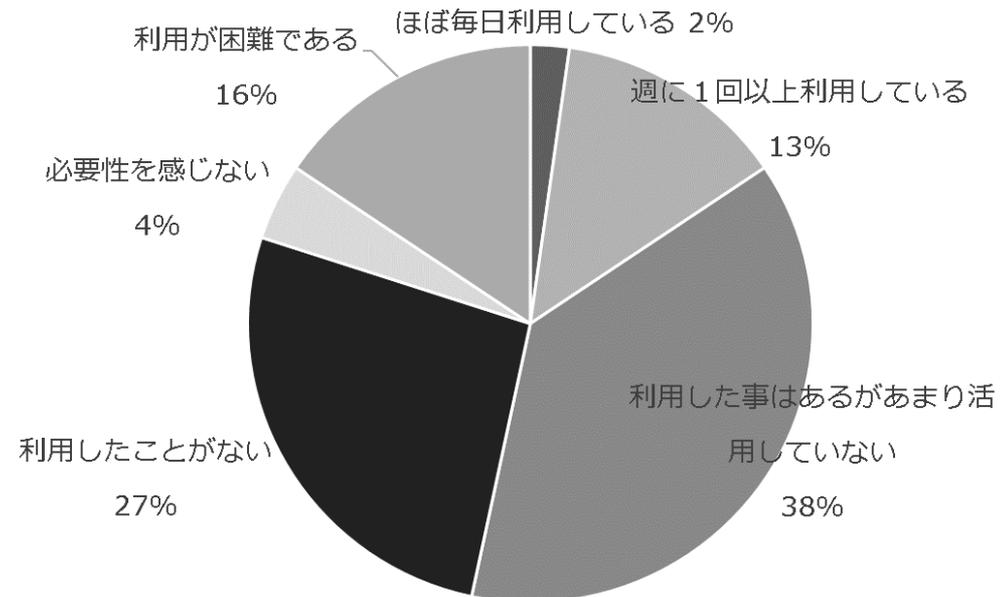
- ・講座の学び合いによる、それぞれのテーマ毎(環境・防災・終活・公園)の区民発の講座の開催
- ・親子ひろばライブ配信など
- ・少人数でのイベント開催とICT推進
- ・オンラインを取り入れた活動を、先々の為に高齢者の方に知ってもらったり身近に感じて頂く活動
- ・現団体を母体とするガイド団体の運営
- ・移動支援
- ・こどもから高齢者問わず、自分の頭でしっかり考えられる地域リーダーとのネットワーク強化
- ・障がい者と地域の方々の繋がりを更に増やす場を作りたい

設問 10 - 1. 団体内部の関係者やメンバーとの会議などにおいて、ビデオ会議ツールを利用していますか？

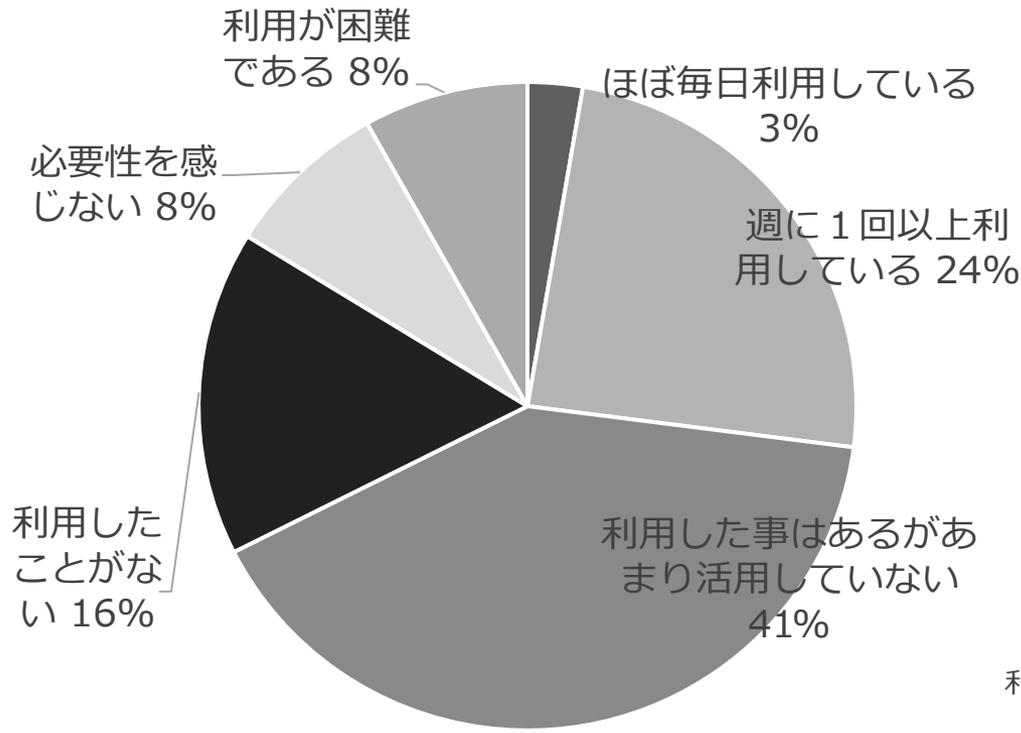


参考) 2020年度調査結果

団体内部の関係者やメンバーとの会議などにおいて、ビデオ会議ツールを利用していますか？

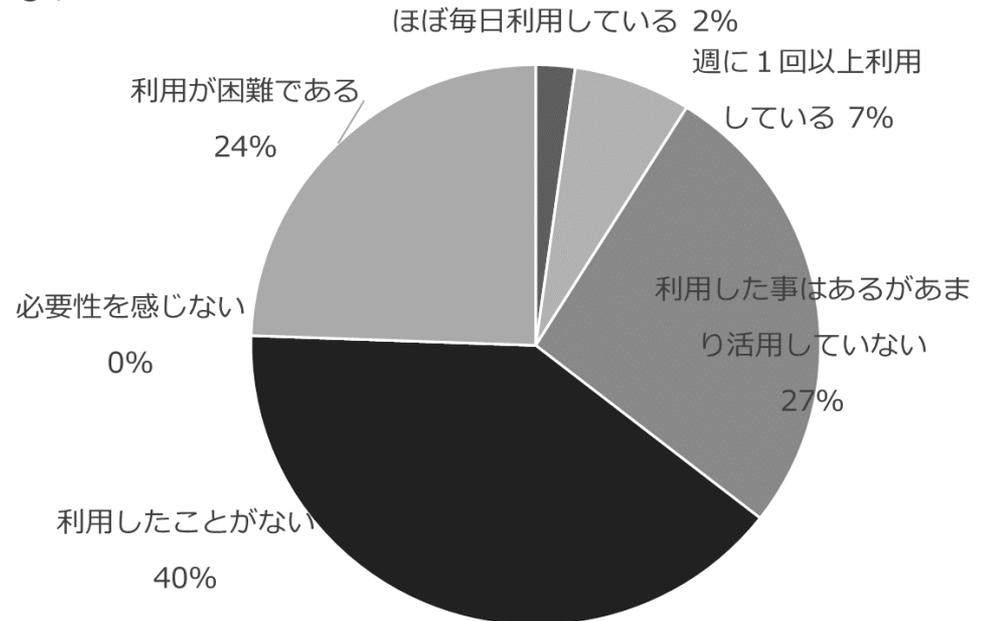


設問 10 - 2. 活動の参加者とのコミュニケーションにおいて、ビデオ会議ツールを利用していますか？

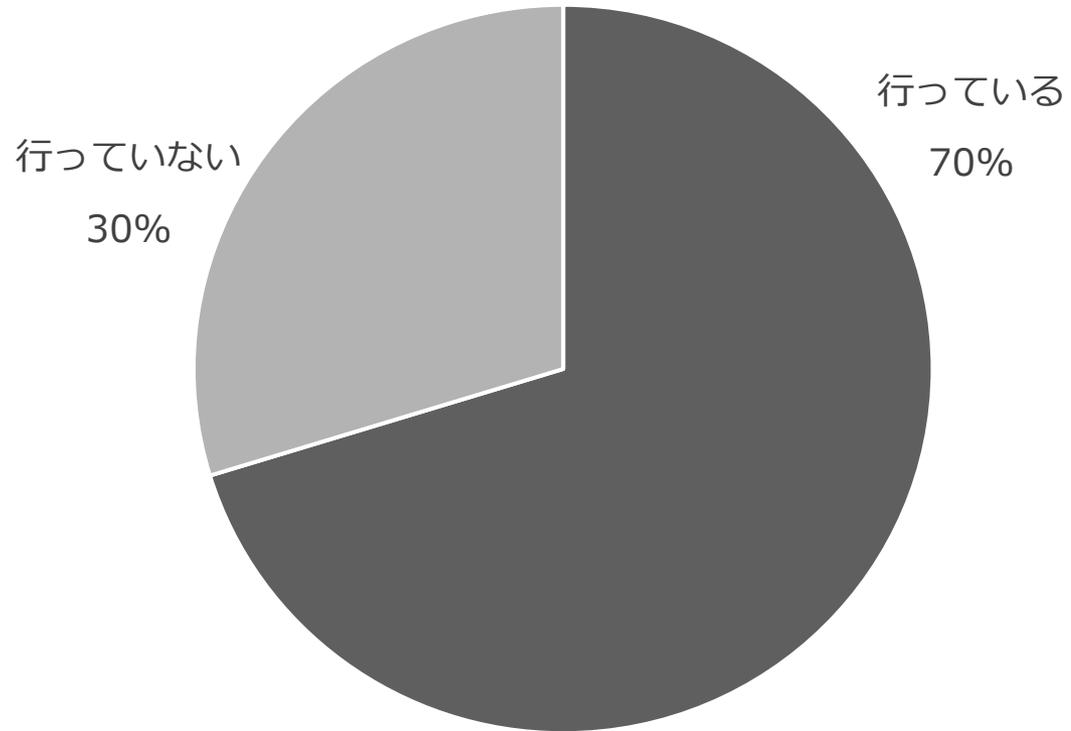


参考) 2020年度調査結果

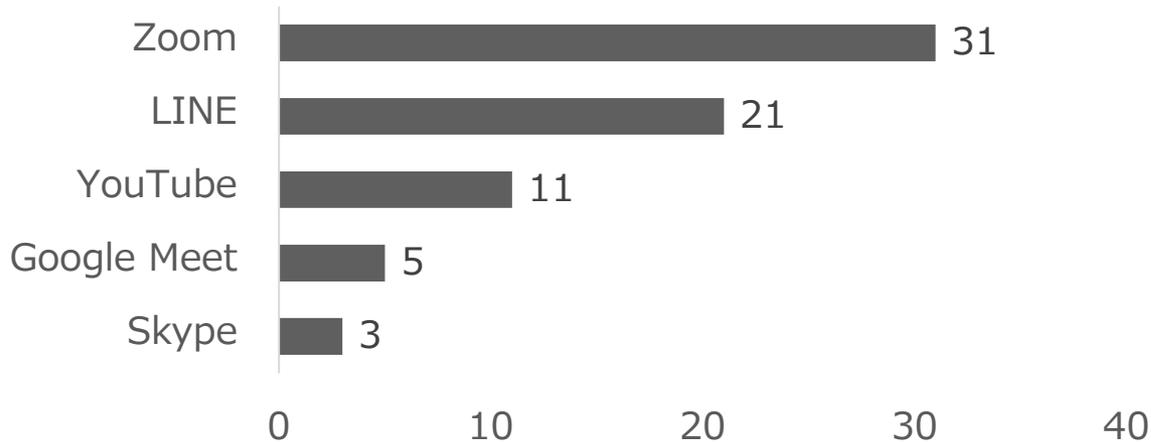
活動の参加者とのコミュニケーションにおいて、ビデオ会議ツールを利用していますか？



設問 1 1 - 1. オンラインを活用した活動を行っていますか？



設問 1 1 – 2. 具体的にどのようなツールを活用していますか？（複数回答可）

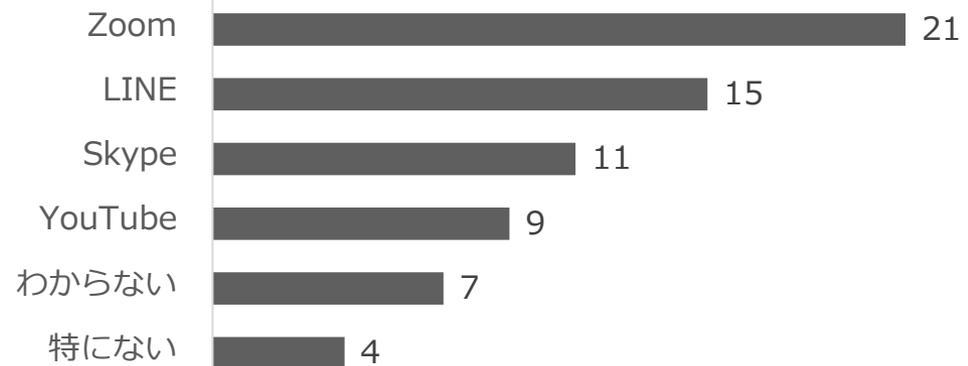


その他の回答内容（自由記述）

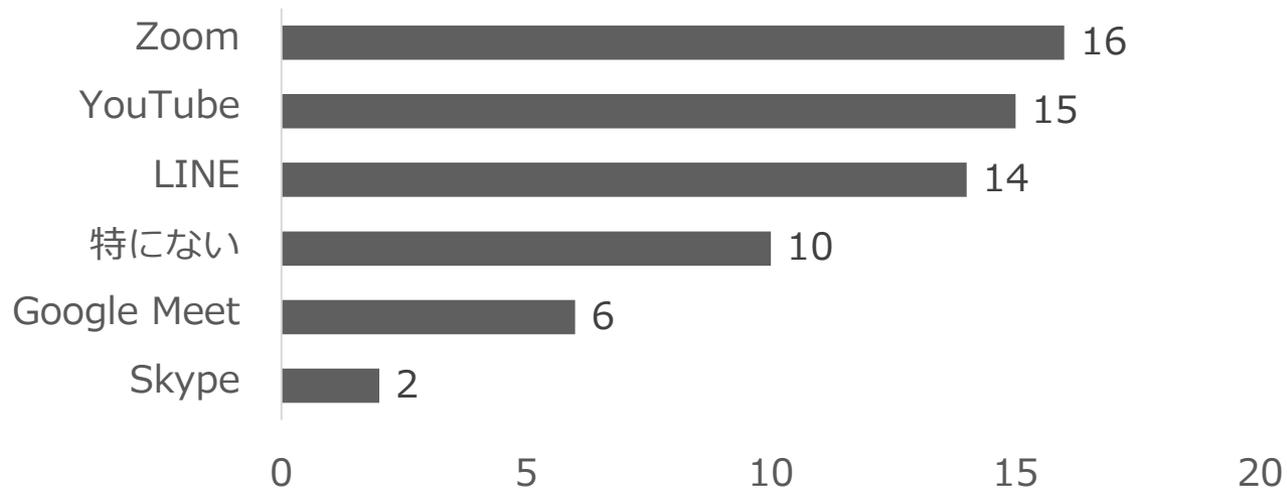
- ・ Facetime
- ・ INSTAGRAM
- ・ WEB
- ・ ドロップボックスを使い始めたばかり。

参考) 2020年度調査結果

今後の活動のため、使い方が分かれば活用してみたいサービスはありますか？（複数回答可）※N=45



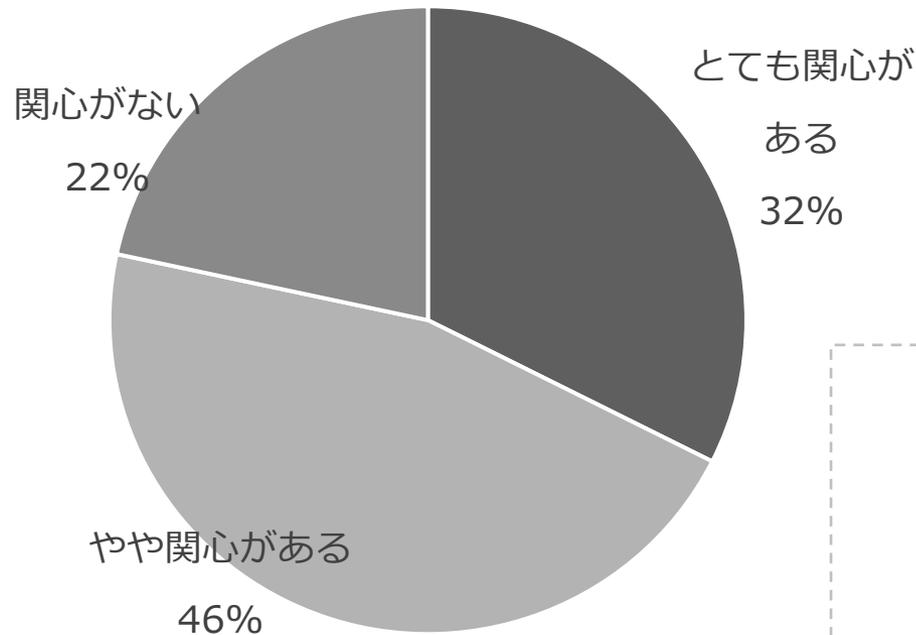
設問 1 1 – 3. 今後活用したいサービスはありますか？（複数回答可）



その他の回答内容（自由記述）

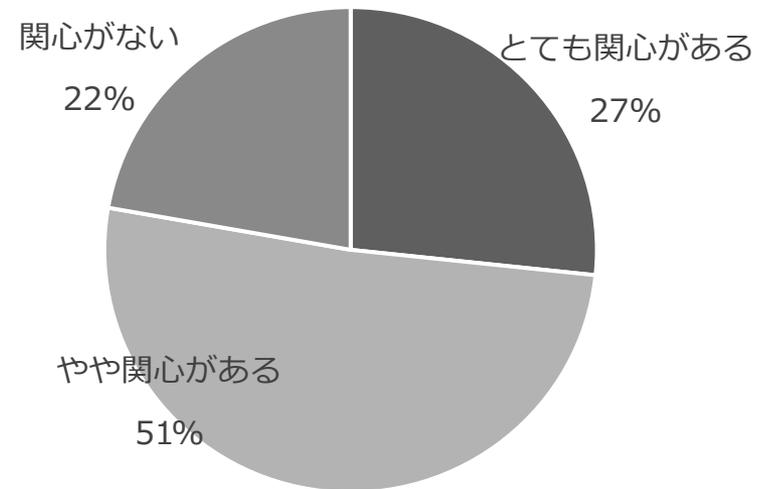
- ・ INSTAGRAM
- ・ DISCORD

設問 1 2. 東京都内の類似した活動を行う団体との間で、ビデオ会議ツールを利用した情報交換をしてみたいと思いますか？



参考) 2020年度調査結果

東京都内の類似した活動を行う団体との間で、ビデオ会議ツールを利用した情報交換をしてみたいと思いますか？



設問 1 3. コロナ禍での活動変化を踏まえて今後、プロボノに依頼したい支援があれば具体的にお書きください。

■ 情報発信系

- ・ウェブのアップデート。広報写真、動画作成支援など。
- ・チラシのひな型、LINEスタンプ登録、活動記録の編集、活動内容や思いを伝える
- ・情報発信のサポートなど どんなメニューがあるのか具体的に教えていただきたい。
- ・メールマガジンの作り方、活用方法。ホームページも診断と双方向発信のサポート
- ・スライドもしくはPV、広報発信チェックリスト&フローづくり
- ・インターネットを介した情報発のための信環境整備やどのようなことに活用できるのかの検討
- ・更新しやすいホームページの作成
- ・HP、ポータルサイトの立上げ
- ・活動の広報へのアドバイス
- ・プロモーション動画制作

■ 組織運営系

- ・クラファン開設支援
- ・寄付いただいたものの管理ならびにマッチングのためのアプリ製作あるいは適切な方法の検討
- ・ガイド団体ウェブのリクエストストフォームの管理、メンバーの登録完了作業など。PC操作やウェブ内の管理操作。
- ・複式簿記での会計管理
- ・インターネットを活用して何ができるか？ITがなかなか身近にならない。
- ・オンラインを活用したイベントやチームビルディングのテンプレート化

設問 1 3. コロナ禍での活動変化を踏まえて今後、プロボノに依頼したい支援があれば具体的にお書きください。

■その他

- ・視察受け入れマニュアル
- ・保健所許可のおりるキッチン設計
- ・他の団体の成功事例
- ・数回で終わるのではなく、毎月2～3回ほどタブレットやスマホの使い方を教え続けられる方
- ・現在活動を整理しており、整理ができれば検討したい。
- ・依頼を申し上げたいことが、まだ具体化していませんが、予備軍も含め、高齢者が互いに創発し合って元気ハツラツに向かうような活動をしたい、と考えています。
- ・移動についての具体的な例
- ・昨年支援いただいたチームからの提案を、今はこなしている段階ですので、今のところは具体的な要望はありません。ただ地域活動はやればやるほどきりがありませんから、課題はいくらでも生まれるでしょう。その際はまたぜひよろしく申し上げます。
- ・個別対応が出来るサービスグラントに助けられています。